

【第6分科会】 健やかな体
研究課題 健やかな体を育むカリキュラム・マネジメント

1 分科会の趣旨

【研究課題の背景・現状】

- ◇子どもの心と体を一体としてとらえ、子ども一人一人がたくましく成長し、充実した人生を送ることができるよう、生涯にわたって積極的にスポーツに親しむ習慣や資質・能力を育成する必要がある。
- ◇健康の保持増進に必要な知識、習慣を身に付けさせることを一層重視する必要がある。
- ◇子どもが学んだことを実生活や実社会で生かすことができるよう、家庭や関係機関等と連携し、組織的・系統的な指導を推進する必要がある。

【研究課題解決の方向性】

- ◇生涯にわたって豊かなスポーツライフを実現する資質や能力、健康で安全な生活を営む実践力を育てる教育活動を推進するためのカリキュラム・マネジメントを確立・実現する。

過去6大会の成果
と前年度の課題

背景・現状を踏まえて、具体的方策と成果を明らかにする

2 研究の視点

- (1) 生涯にわたって豊かなスポーツライフを実現する資質や能力を育てる教育活動の推進
・学校や地域の実態を踏まえ、体育的な活動を教育活動全体の中に計画的に位置付け、全教職員の共通理解の下、積極的に実践していくカリキュラム・マネジメントを実現する。
- (2) 健康で安全な生活を営む実践力を育てる教育活動の推進
・子どもに生涯を通じて健康・安全で活力ある生活を送るための基礎が培われるよう、家庭や地域、関係機関等の協力を得ながら、学校の教育活動全体を通じて、計画的・継続的に指導が行われるカリキュラム・マネジメントを実現する。

3 「校長の果たすべき役割と指導性を究明する」ための協議の柱

- ① 生涯にわたって豊かなスポーツライフを実現する資質や能力を育てる教育活動を推進するカリキュラム・マネジメントをどう確立・実現するか。
- ② 健康で安全な生活を営む実践力を育てる教育活動を推進するカリキュラム・マネジメントをどう確立・実現するか。

第6分科会 「健やかな体」健やかな体を育むカリキュラム・マネジメント

【視点①】生涯にわたって豊かなスポーツライフを実現する資質や能力を育てる教育活動の推進

「地域と連携しながら楽しくスポーツに取り組み、自らの健康を維持できる児童を育成する教育活動の推進に校長の果たす役割」

群馬県 館林市立美園小学校 校長 樺澤 聡

1 趣 旨

子どもたちが生涯にわたって健康で安全な生活を送ることができる力を育むことが強く求められている。校長として、教職員の体力・健康維持を図り、健やかな学校づくりを行うことも求めている。「人生100年時代」とも呼ばれるようになった。しかし、健康寿命は伸びてきたとはいえ、男性9年、女性12年は、寝たきりや介護を受ける人生となってしまう。館林市の健康寿命は、群馬県の中で最も短い市である。「健康寿命をのばそう！」という地域の課題とも向き合いたい。この地域社会を支えていく子どもたちが、ふるさとを愛し、自ら新しい社会を切り拓く力をつけられる学校経営について、校長としての役割を探っていきたい。

2 研究の概要

- (1) 児童が楽しく、自ら考えてスポーツに取り組むため、遊びやスモールステップを取り入れ、できた喜びを味わわせる体育授業の充実を図る。
- (2) 家庭や地域の教育力を生かし、将来にわたって自分の住むふるさとともつながりを持っていけるように、地域人材とのコーディネートを行う。
- (3) 道徳の教科化、英語活動やプログラミング教育などの導入で多忙を極める中、教師や校長が生涯スポーツに取り組む姿を示し、自らの健康を維持できるような学校経営を行っていく。

<メモ>

【発表内容に関すること】

○有効な取組

○疑問・改善

【自己の実践等に関すること】

◇「校長の役割と指導性」について、協議内容を簡潔にまとめると… 【キーワードかキーセンテンスで】

☆参考キーワード

将来へも持続可能な運動
保健・食育との連携

体育授業の充実
スポーツに取り組む機会

家庭や地域との連携
職員の働き方改革

【視点②】 健康で安全な生活を営む実践力を育てる教育活動の推進

「健やかな体を育む健康教育の推進と校長の在り方」

福島県 東白川郡鮫川村立鮫川小学校 校長 藤田 篤

1 趣 旨

近年、社会状況や生活環境の変化に伴い健康問題が顕著になり、本地区でも例外ではなく、体力・運動能力の低下や肥満傾向児の増加が見られる。子どもたちが生涯にわたって健康を維持・増進するために、学校は、教育活動全体を通して自らの健康について考え、判断し、実践する力を育むことが必要である。本研究では、子どもたちの健やかな体を育むためのカリキュラム・マネジメントの具体的方策、校長の果たすべき役割と指導性を明らかにしていく。

2 研究の概要

- (1) 教職員の意識改革と授業力向上
- (2) 組織体制の確立と活性化
- (3) 家庭・地域、関係機関との連携強化

以上のような3つの視点により、体力の向上、健康の保持増進につながるよう、「研修の機会の充実」「ミドルリーダーの育成」「プロジェクトチームによる取組の活性化」「児童の主体的な活動の推進」「連携強化による取組の深化・拡充」等の実践や校長の関わりについて発表する。

<メモ>

【発表内容に関すること】

○有効な取組

○疑問・改善

【自己の実践等に関すること】

◇「校長の役割と指導性」について、協議内容を簡潔にまとめると… 【キーワードかキーセンテンスで】

☆参考キーワード

意識改革 授業力向上 組織の活性化 連携強化
研修機会の設定 ミドルリーダー プロジェクトチーム カリキュラム・マネジメント

過去6大会の成果と前年度の課題

領域Ⅱ 教育課程 第6分科会 健やかな体

25 三重 大会	<p>研究課題 未来を生きる力を育てる健康教育・環境教育の推進 視点1 健やかな体を育てる健康教育の推進 視点2 実践的な態度を育む環境教育の推進</p> <p>□子どもたちの体力向上に向けて実態を把握して、教職員はもちろん家庭とも課題を共有して取り組むことで成果が見られるようになった。 □健康教育・環境教育に限らず、校長のリーダーシップとしてビジョンの明確化や調整力というキーワードが示され、共有できた。</p>			
26 埼玉 大会	<p>研究課題 健やかな体を育む教育課程の編成・実施・評価・改善 視点1 たくましく生きるための体力を育む教育活動の推進 視点2 主体的、実践的な能力や態度を育む健康教育の推進</p> <p>□児童・保護者・地域の実態に即した連携の在り方や小中連携の重要性と必要性を再認識することができた。 □校長の明確な経営方針に基づき、共通基盤としてキーワードを示すことにより、具体的な実践を展開できた。</p>			
27 山口 大会	<p>研究課題 健やかな体を育むカリキュラム・マネジメント 視点1 たくましく生きるための体づくりを図った教育活動の推進 視点2 主体的、実践的な能力や態度を育む健康づくりの推進</p> <p>□校長会が組織的に指導性を発揮することにより、それまで、学校ごとに取組を委ねられる傾向にあった体力・運動能力向上策を全町的な取組へと導き、確かな成果を上げることができた。 □校長の方針の下、生活習慣づくりを教育活動の基盤に据え、全校体制で取り組んだことで、校内の協働体制が強化された。</p>			
28 高知 大会	<p>研究課題 健やかな体を育むカリキュラム・マネジメント 視点1 生涯にわたって運動に親しむための体力・運動能力の育成 視点2 主体的・実践的な態度を育む健康づくりの推進</p> <p>□健康教育は市・県全体で、組織的な取組がなされている。また、研究に関わる学校が教職員全体で取り組む意識をもち、組織的な研究となるよう校長の指導力が発揮されている。 □行政施策や研究大会等に向け、校長自らが熱意をもって取り組むことで、教職員の共通理解を深めるとともに組織力を強め、人材育成にもつながっている。</p>			
29 佐賀 大会	<p>研究課題 健やかな体を育むカリキュラム・マネジメント 視点1 生涯にわたって運動に親しむ教育活動の推進 視点2 主体的・実践的な能力や態度を育む健康づくりの推進</p> <p>□校長の明確なビジョンの下、学校全体で組織的に体力向上に向けた取組を行うことが、カリキュラム・マネジメントにもつながり、児童の運動に係る意識の高揚にもつながることが分かった。 □校長が若手教員に、健康づくりに係る教育活動の企画・運営を任せながら人材育成に努めていくことは大切なことである。このことは、教職員の意識改革や専門性、授業の質の高まり、児童の運動に係る意識の高揚にもつながることが分かった。</p>			
30 北海道 大会	<p>研究課題 健やかな体を育むカリキュラム・マネジメントと校長の在り方 視点1 生涯にわたって豊かなスポーツライフを実現する教育活動の推進 視点2 生涯を通じて自他の健康課題に適切に対応する教育活動の推進</p>			
	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">成 果</th> <th style="width: 50%;">課 題</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <p>□関係団体等と連携した取組は、生涯スポーツへの発展が期待できる。子どものニーズや変容的確な把握は、健康的な生活習慣の獲得につながる。 □朝・業間等の体力向上に向けた取組が、子どもの意欲向上に結び付いている。</p> </td> <td> <p>■教科体育等で生涯スポーツへとつなげる道筋を明らかにしていく必要がある。 ■自己管理につながるシート等の活用は、校種を越えた連続性が重要となる。日常的な運動機会の設定も必要である。</p> </td> </tr> </tbody> </table>	成 果	課 題	<p>□関係団体等と連携した取組は、生涯スポーツへの発展が期待できる。子どものニーズや変容的確な把握は、健康的な生活習慣の獲得につながる。 □朝・業間等の体力向上に向けた取組が、子どもの意欲向上に結び付いている。</p>
成 果	課 題			
<p>□関係団体等と連携した取組は、生涯スポーツへの発展が期待できる。子どものニーズや変容的確な把握は、健康的な生活習慣の獲得につながる。 □朝・業間等の体力向上に向けた取組が、子どもの意欲向上に結び付いている。</p>	<p>■教科体育等で生涯スポーツへとつなげる道筋を明らかにしていく必要がある。 ■自己管理につながるシート等の活用は、校種を越えた連続性が重要となる。日常的な運動機会の設定も必要である。</p>			

(各大会の集録より一部引用)